

感染症情報

1月に入り、インフルエンザA型が流行しています。

本校におけるA型インフルエンザ感染者は、各学年にまんべんなくおり、合計11名います。

(1月28日現在)

急激な増加は見られませんが、感染者が出続けています。引き続き、予防に努めてほしいと思います。

小さいお子様は重症化しやすく、体温が平熱となった後も再度発熱しているケースもみられます。

風邪様症状(鼻水、咳、くしゃみ等)に合わせて、全身倦怠感(だるさ)、関節痛や発熱(37度後半以上)がみられる際には早めに病院を受診し、インフルエンザの診断がされた場合には学校までご連絡を宜しくお願い致します。

(発症より48時間以内に抗インフルエンザ薬を服用すると発熱時間が短くなります)

休日後に感染者が増える傾向があります。休みの日に友だちと一緒に遊んだり、塾等で友だちとともに過ごしたりすることによって感染が広がることもあるようです。また、日本国内でもインフルエンザ感染者が急増しており、春節に日本に行かれる方は注意が必要です。家庭でも、うがい、手洗いを徹底し、湿度(50~60%)をなるべく保つなどして感染予防に努めてください。

その他、溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎、胃腸風邪等もみられています。

あわせてご注意ください。

〈インフルエンザ等感染症予防の基本〉

- ・ 不要不急な外出を控える
- ・ 手洗いうがいの励行
- ・ マスク着用
- ・ 疲れをためないよう十分に休息、また栄養をしっかり摂り、抵抗力をつけておく